

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公表番号】特表2013-539232(P2013-539232A)

【公表日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-057

【出願番号】特願2013-531574(P2013-531574)

【国際特許分類】

H 01 L 31/042 (2006.01)

【F I】

H 01 L 31/04 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年9月25日(2013.9.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

このように、光電子デバイス用インターフェクトについて開示した。本発明の実施形態によると、光電子デバイス用インターフェクトは応力緩和構造を含む。一実施形態では、インターフェクトは内面、外面、第1端及び第2端を有するインターフェクト本体を含む。複数のボンドパッドは、第1端と第2端との間でインターフェクト本体の内面と結合される。応力緩和構造はインターフェクト本体に形成される。応力緩和構造は複数のT形スロットを含み、複数のT形スロットのそれぞれは複数のボンドパッドの対応する1つとほぼ並ぶように配置され、複数のT形スロットのそれぞれの垂直部分は複数のボンドパッドの対応する1つに対して近位であり、複数のT形スロットのそれぞれの水平部分は複数のボンドパッドの対応する1つに対して遠位である。本発明の別の実施形態によると、光電子デバイス用インターフェクトはL形構造を含む。一実施形態では、インターフェクトは、内面、外面、第1端及び第2端を有するインターフェクト本体を含む。複数のボンドパッドは、第1端と第2端との間でインターフェクト本体の内面と結合される。構造はインターフェクト本体に形成され、この構造は、インターフェクト本体の第1端にある第1のL形延長部と、インターフェクト本体の第2端にある第2のL形延長部とを有する。第1及び第2のL形延長部のそれぞれの水平基部は、インターフェクト本体の内面に対して近位であり、かつ外面に対して遠位にある。

[項目1]

光電子デバイス用のインターフェクトであって、

内面、外面、第1端及び第2端を備えるインターフェクト本体と、

上記第1端と第2端との間で、上記インターフェクト本体の上記内面と結合された複数のボンドパッドと、

上記インターフェクト本体に形成された応力緩和構造と、を備え、

上記応力緩和構造は複数のT形スロットを有し、上記複数のT形スロットのそれぞれは上記複数のボンドパッドの対応する1つと並ぶように配置され、上記複数のT形スロットのそれぞれの垂直部分は上記複数のボンドパッドの上記対応する1つに対して近位であり、上記複数のT形スロットのそれぞれの水平部分は上記複数のボンドパッドの上記対応する1つに対して遠位である、インターフェクト。

[項目2]

上記応力緩和構造が、上記第1端と上記第2端とのほぼ中間の位置に細いスロットを更

に備え、上記細いスロットは上記インターロケクト本体の上記内面に開口部を備え、上記細いスロットは上記インターロケクト本体内に延在するが、上記外面を貫通していない、項目1に記載のインターロケクト。

[項目3]

上記応力緩和構造が、上記第1端に対して近位であり上記第2端に対して遠位である場所に配置された第1の細いスロットと、上記第1の細いスロットと上記第1端との間に配置された第2の細いスロットとを有し、

上記第1の細いスロットは上記インターロケクト本体の上記外面に開口部を備え、上記インターロケクト本体内に延在するが、上記内面を貫通せず、

上記第2の細いスロットは、上記内面と外面との間であって上記内面及び外面に対して直交するように配置され、上記内面及び外面のいずれに対しても開口しておらず、かつ、上記第2の細いスロットは上記複数のT形スロットのうち最も外側に位置するT形スロットの水平部分と結合されている、項目1に記載のインターロケクト。

[項目4]

上記応力緩和構造は、上記複数のボンドパッドのうちの1つが上記インターロケクト本体の上記内面と結合されている場所又はその近くに垂直ジョグを更に備える、項目1に記載のインターロケクト。

[項目5]

上記応力緩和構造が、上記第1端と第2端との間のほぼ中間の位置に配置された第1の細いスロットと、上記第1端に対して近位であり上記第2端から遠位の位置に配置された第2の細いスロットと、上記第2の細いスロットと上記第1端との間に配置された第3の細いスロットと、上記複数のボンドパッドの1つが上記インターロケクト本体の上記内面と結合されている場所又はその近くの垂直ジョグとを更に有し、

上記第1の細いスロットは、上記インターロケクト本体の上記内面に開口部を備え、上記インターロケクト本体内に延在するが、上記外面を貫通せず、

上記第2の細いスロットは、上記インターロケクト本体の上記外面に開口部を備え、上記インターロケクト本体内に延在するが、上記内面を貫通せず、

上記第3の細いスロットは、上記内面と外面との間にあり上記内面及び外面に対して直交であるが上記内面及び外面のいずれに対しても開口しておらず、かつ上記複数のT形スロットの最も外側のT形スロットの水平部分と結合されており、項目1に記載のインターロケクト。

[項目6]

上記インターロケクトがカップリングインターロケクトである、項目1に記載のインターロケクト。

[項目7]

上記インターロケクトが端子インターロケクトである、項目1に記載のインターロケクト。

[項目8]

光電子デバイス用のインターロケクトであって、  
内面、外面、第1端、及び第2端を備えるインターロケクト本体と、  
上記第1端と第2端との間で、上記インターロケクト本体の上記内面と結合された複数のボンドパッドと、

上記インターロケクト本体に形成された構造とを備え、

上記構造は、上記インターロケクト本体の上記第1端にある第1のL形延長部と、上記インターロケクト本体の上記第2端にある第2のL形延長部と、を備え、

上記第1及び第2のL形延長部のそれぞれの水平基部は、上記インターロケクト本体の上記内面に対して近位であり、上記インターロケクト本体の上記外面に対して遠位にある、インターロケクト。

[項目9]

上記第1端と第2端との間のほぼ中間の位置に細いスロットを備える応力緩和構造を更

に備え、

上記細いスロットは上記インターロネクト本体の上記内面に開口部を備え、上記インターロネクト本体内に延在するが、上記外面を貫通しない、項目8に記載のインターロネクト。

[項目10]

上記複数のボンドパッドのうちの1つが上記インターロネクト本体の上記内面と結合されている場所又はその近くに垂直ジョグを更に備える応力緩和構造を更に備える、項目8に記載のインターロネクト。

[項目11]

応力緩和構造を更に備え、上記応力緩和構造が、

上記第1端と第2端との間のほぼ均等の場所にある細いスロットであって、上記インターロネクト本体の上記内面に開口部を備え、上記インターロネクト本体内に延在するが、上記外面を貫通していない、細いスロットと、

上記インターロネクト本体の上記内面に上記複数のボンドパッドの1つが結合されている場所又はその近くの垂直ジョグと、を更に備える、項目8に記載のインターロネクト。

[項目12]

上記インターロネクトがカップリングインターロネクトである、項目8に記載のインターロネクト。

[項目13]

上記インターロネクトが端子インターロネクトである、項目8に記載のインターロネクト。

[項目14]

光電子デバイス用のインターロネクトであって、

内面、外面、第1端、及び第2端を備えるインターロネクト本体と、

上記第1端と第2端との間で上記インターロネクト本体の上記内面と結合された複数のボンドパッドと、

上記インターロネクト本体に形成された応力緩和構造と、

上記インターロネクト本体の上記第1端にある第1のL形延長部と、

上記インターロネクト本体の上記第2端にある第2のL形延長部とを備え、

上記応力緩和構造は、複数のT形スロットを有し、上記T形スロットのそれぞれは上記複数のボンドパッドの対応する1つとほぼ並ぶように配置され、上記複数のT形スロットのそれぞれの垂直部分は上記複数のボンドパッドの上記対応する1つに対して近位であり、上記複数のT形スロットのそれぞれの水平部分は上記複数のボンドパッドの上記対応する1つに対して遠位である、

上記第1及び第2のL形延長部のそれぞれの水平基部は上記インターロネクト本体の上記内面に対して近位であり、かつ上記インターロネクト本体の上記外面に対して遠位にある、インターロネクト。

[項目15]

上記応力緩和構造が、上記第1端と上記第2端との間のほぼ均等の場所に細いスロットを更に備え、上記細いスロットは上記インターロネクト本体の上記内面に開口部を備え、上記インターロネクト本体内に延在するが、上記外面を貫通していない、項目14に記載のインターロネクト。

[項目16]

上記応力緩和構造が、上記第1端に対して近位かつ上記第2端から遠位である場所の第1の細いスロットであって、上記インターロネクト本体の上記外面に開口部を備え、上記インターロネクト本体内に延在するが、上記内面を貫通していない、第1の細いスロットと、上記第1の細いスロットと上記第1端との間の第2の細いスロットであって、上記内面と外面との間にあり、上記内面及び外面に対して直交であるが、上記内面及び外面のいずれに対しても開口しておらず、上記複数のT形スロットの最も外側のT形スロットの水平部分と結合されている、第2の細いスロットと、を更に備える、項目14に記載のイン

ターコネクト。

[ 項目 17 ]

上記応力緩和構造が、上記インターロネクト本体の上記内面に上記複数のボンドパッドの1つが結合されている場所又はその近くに垂直ジョグを更に備える、項目14に記載のインターロネクト。

[ 項目 18 ]

上記応力緩和構造が、

上記第1端と第2端との間のほぼ中間に配置された第1の細いスロットと、

上記第1端に対して近位であり上記第2端から遠位である場所に配置された第2の細いスロットと、

上記第2の細いスロットと上記第1端との間に配置された第3の細いスロットと、

上記インターロネクト本体の上記内面に上記複数のボンドパッドの1つが結合されている場所又はその近くの垂直ジョグとを更に有し、

上記第1の細いスロットは、上記インターロネクト本体の上記内面に開口部を備え、上記インターロネクト本体内に延在するが、上記外面を貫通せず、

上記第2の細いスロットは、上記インターロネクト本体の上記外面に開口部を備え、上記インターロネクト本体内に延在するが、上記内面を貫通せず、

上記第3の細いスロットは、上記内面と外面との間であって上記内面及び外面に対して直交するように配置され、上記内面及び外面のいずれに対しても開口しておらず、かつ上記複数のT形スロットの最も外側のT形スロットの水平部分に結合されている、項目14に記載のインターロネクト。

[ 項目 19 ]

上記インターロネクトがカップリングインターロネクトである、項目14に記載のインターロネクト。

[ 項目 20 ]

上記インターロネクトが端子インターロネクトである、項目14に記載のインターロネクト。